

議会だより

定例会

令和6年第3回定例会は9月11日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

■ 調査期日 6月25日(火)
■ 調査事項
株式会社北竜振興公社の経営状況について

■ 調査結果 指摘事項なし

■ 調査期日 7月30日(火)

調査事項

・ ひまわり油の状況について
・ ひまわりの里の開花状況及び運営状況について

■ 調査結果 指摘事項なし

■ 調査期日 9月4日(水)

調査事項

・ 地域おこし協力隊について
■ 調査結果 指摘事項なし

同意

教育委員会委員の任命について

○寺垣 和子 氏(再)

固定資産評価審査委員会委員の選任について

○伊藤 隆幸 氏(新)

原案可決

○北竜町除雪センター改築1期工事請負契約の締結について

○北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について

○北竜町国民健康保険条例の一部改正について

○北竜町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正について

○令和6年度北竜町一般会計補正予算(第3号)について
○令和6年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第3号)について

○令和6年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

○令和6年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第3号)について

○令和6年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算(第1号)について

○令和6年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第2号)について

認定

○令和5年度北竜町一般会計外5会計(国保・診療所・後期高齢・介護・特老)の歳入歳出決算認定と令和5年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計決算認定と令和5年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について

決算審査特別委員会(尾崎圭子委員長)を設置し、その審査を付託、休会中に審査を行い認定されました。

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

活動報告

【10月】

4日：災害対策特別委員会雨竜川ダム現地調査

11日：総務産業常任委員会

15～18日：総務産業常任委員会道外先進地政務調査

19日：真竜小学校学習発表会

21日：例月出納検査(監査委員)

24～25日：空知町村議会議長会第2回総会

30日～11月1日：市町村議会議員特別セミナー(佐藤議員・寺垣議員)

活動予定

【11月】

7～8日：監査委員・補助職員研修会(監査委員)

10～12日：空知町村議会議長会道外行財政制度政務調査

13～14日：第68回町村議会議長全国大会

14日：深川地区消防組合議会議員協議会(木村議員)

22日：北空知議会議長連絡協議会総会

未定：例月出納検査(監査委員)

一般質問

9月11日に開会された第3回定例会では、7名の議員から9件の一般質問がありました。



寺垣議員

北竜町立共同墓設置の可能性について

寺垣議員

お墓の管理や遺骨の引き取り手が困難な事例が増加している。当町においても「墓終い」をする方が増える傾向に思われるが、町立の共同墓の設置の予定があるか。

佐々木町長

近年、「改葬」や「墓じまい」などが増えてきている。当町でも墓地を管理する方が亡くなられた時には、墓地使用者の変更や改葬手続きをお願いしている。

町では、共同墓のニーズについて調査は行っていないが、現在、共同墓の需要が顕在化している状況ではないと考えている。

や、お骨を埋葬する方法の選択肢が増えたこともあり、昨今の「墓じまい」が増加傾向にある。

2年前の全国の改葬事例で、北海道が12、243件と一番多く、現在では更に増加しているものと予想するところである。

町営の共同墓にする場合はあくまで町民や町内にお墓がある方が対象だと思うが、意識の変化にともない「改葬」や「共同墓」についてアンケート調査を行ってみることを提案する。

お墓の維持管理やお骨の継承については、民法で祭祀主宰者に指定された者が先祖の祭祀を主宰すべきものとなっているとの事だが、あくまで話し合いの上で維持管理を行うもので法的な拘束力がある訳ではなく、故人の遺言が唯一、法的拘束力があるのと。また、他に自然葬、散骨と言う選択肢を含めて、民間の方に北竜町の霊園の中で共同墓を設置してもらう方法もあるのではないかと。例えば「ひまわり葬」と言うようなかた

寺垣議員

共同墓の建設には多額の費用を要し、維持管理費も発生する事から現時点での共同墓を新設する予定はないが、町民の皆様のご意向をお聞きしながら整備について検討する。

細川住民課長

北空知においては、深川市が平成18年度に新設されており、沼田町については令和7年4月に開設予定となっている。ともに市内町内の墓にご遺骨が入っている方が対象である。妹背牛町、秩父別町については今のところ整備をする予定はない。

寺垣議員

コロナ禍の影響で墓参りがしにくい時期があったこと

ちで、町内外からもご遺骨を受け入れする考え方もあるのではないかと。

アンケート調査を実施する方向で協議している。また、8名の議員の皆さんにもそれぞれ地域に入ってもらい、住民の声を集めてお知らせ頂くことを願いたい。

ご指摘のように、民法に委



林議員

町民に対する行政情報の提供方法について

林議員

現在、防災行政無線が活用され町民の皆さんに適時行政情報等の提供が行われているが、無線放送提供時に町内に居らず情報を聞くことが出来ない時や無線放送が聞き取れず情報が伝わらない事があるという話を耳にしている。

メールやラインを活用すれば聞き逃した情報を文字データで確認できるうえに、災害

ねられている部分や遺言が優先する事も承知している。また、民間に委託する方法についても今後検討する。

その中で「ひまわり葬」というご提案をいただき、北竜町ならではの素晴らしい風景と歴史を町外の方々に知らせる部分において興味深く思っている。

時にも情報の聞き逃しが減少し不安にならず行動する事が可能になり、より一層の町民サービスの向上に繋がると考

える。

北竜町での導入は検討されているのか理事者の考えを伺いたい。

佐々木町長

防災行政無線は緊急時の情報伝達方法としては有効で必要であると考えているが、ご

指摘のとおり就業体系や生活行動により聞きそびれる事もあり、日々細かな情報伝達方法としては十分ではないことも認識している。

来年度予定している戦略的プロモーション事業において



澤田議員

コミュニティセンターの今後のあり方について

も町ホームページやSNSを含めた情報発信が重要であると考えており、LINE等の活用も含め必要な情報が適時発信出来る体制構築を今後検討する。

澤田議員

コミュニティセンターは、「コミュニティセンター設置条例」により設置され、その管理・運営は町内会となつている。どの町内会も人口の減少と高齢化で管理・運営面での負担が大きくなつているのが現状である。

和や碧水、美葉牛の中心地域にある公民館、生きがいセンター等は、管理者が常駐し、地域のコミセン利用の町内会と違い、管理も保守・整備も町が行っており、費用負担の面で大きな差異がある。

この際、町内全ての地区コミュニティの維持・補修にかかる費用に町内会負担の無いよう取り計らうべきと思うが、町長の考えをお聞きする。

佐々木町長

現在、町内にはコミュニティセンターは5ヶ所あり、補修の交付基準は事業費25万円を下限とし、町が3/4を助成している。

公民館等の施設については、社会教育施設として社会教育法やそれに準ずる法令により設置されており、地域住民の要望により自主的活動の

場として設置しているコミュニティセンターとは設置の背景が異なることをご理解頂きたい。

町内会の戸数減等により、修繕費が大きな負担となつていることは認識しているが、厳しい財政状況の中でできる限りの支援を行っている状況もご理解いただき、今後も町内会の負担割合につきましても、現状のままの負担をお願いしたい。

澤田議員

コミュニティの補修や設備、備品の入替については、各町内会で基金を積み立てている。しかし、人口が減少し、高齢化によつて若い人達の負担が重くなつてきている。屋根や外壁など大きな修繕について助成を増やして頂きたい。

佐々木町長

コミュニティセンターの補助成金事務取扱により定められている。若い世代の負担を考えると早急に考えて行かなければならない。町内会の合併に必要な生じた場合はその都度柔軟に対応していく。



尾崎議員

北竜町立やわら保育園の認可保育園移行と給食委託進捗状況は

尾崎議員
やわら保育園は、令和元年から現在の場所へ移転した。前保育所から認可外の保育園として受け継ぎ、施設の整備・職員の増員確保等の国の定める基準に縛られずに、保育・教育を目指す保育園として現在に至っている。

があり、給食提供のために認可保育園に移行することは考えてはいない。

しかし、保護者からは、なぜ認可保育園にしないのかの質問や希望もあつたと聞く。認可保育園移行への理事者のお考えと、4月の定例会で質問した給食委託のその後の進捗状況をお聞かせいただきたい。

佐々木町長

認可保育園は、施設整備の要件・保育士の配置・給食の提供など様々な設置基準があるが、現在の保育園に移行する際も自由度の高い認可外として運営することとした経過

現在、来年度から始まる「第3期北竜町子ども子育て支援事業」の策定のため、アンケート調査等を実施するが、それらの結果を運営に反映させたいと考えている。今後、保護者や保育園の意見を十分踏まえ、認可外であってもより良い保育の提供ができるよう、保育理念や方針を策定していく。

給食委託については、給食数と経費の面などから折り合いが付かなかつた。現在、保育園と協議し給食の在り方について協議している。今後もより良い保育環境を提供できるように対応していくのでご理解賜りたい。

尾崎議員

移行の際は、さまざま困難

の中でご苦労があったと推測する。また当時の保護者の周囲から「お弁当くらい親が作るものだ」との背景があったかと思うが、今は給食のない保育園は北竜町の弱みになっているのではないか。

保護者の声と、これからの大切な子どもたちの育つ食を中心の環境を守り整えること



木村議員

鳥獣害被害とその予防対策について

を最優先に考えて、「どこに訴えても何を言っても無駄だよ」との声を聞かなくていいように、また子ども子育て支援にも佐々木町長のお考えに期待する。

佐々木町長

給食については諦めてはいない。粘り強く前向きに進めていく。

鳥獣害予防対策として電柵は重要な役割を担っていると思うが、途中で線が繋がっていないなかったり、太陽光パネルが設置されていない等管理が十分でないところが見受けられる。予算を増額して管理していくことが必要と考えるかどうか。理事者の考えを伺いたい。

佐々木町長

シカ用電柵の設置について

ては、今では全延長が102kmとなっている。

管理については、農業者自らがおこない電柵の上げ下ろしなどは共通取組活動として農地・水活動組織からの負担により事業運営をしているが、平成24年より10年余りが経過し、資材の老朽及び交換等作業にかかる日数の増加、並びに昨今の熊出没による作業の停滞など地域の皆様にはご

不便をお掛けしている。

農地の移動等による耕作者の変更や通い作増加等により、管理主体や方法が曖昧になってきていることを踏まえ、改めて農業者及び各農業関係団体と協議を進め、電柵設置にかかる有利な補助事業があれば活用して参りたい。



木村議員

ひまわりの里の整備計画と運営について

町予算が限定されている中で、道と国に対して地方の実情に応じた対応出来る予算の増額は是非お願いして頂きたい。

佐々木町長

運営規則の見直しを農業者と各農業関係団体と充分協議しながら検討していく。

ひまわりの里の整備について、ノンノの森や野球場のサブグラウンドも水はけが悪いので排水対策を行い、樹木が生い茂る森とキャンプ場として使用できるよう整備をしてはどうか。

佐々木町長

遊覧車やひまわり迷路などの運営見直しと、追加の遊覧車やトレーラーハウスの設置等、町の収入として還元できるようにしてはどうか。

肥の投入が必要であると考え

る。有機物としての成分が数倍多い「ロシア」を使用すると良いと思うかどうか。

佐々木町長

ひまわりの里の整備については、町民並びに関係者の皆様にも多くのアイデアをいただいております。建物だけではなくノンノの森等の周辺整備、観光センター、ひまわりまわりの運営など全体計画として今後とも皆様と協議して参りたい。

品種について、現在は草丈が1.5・5m程度で倒伏に強く密植にも適しており、近い位置で撮影できることから大変好評を得ている。ホクレン、種苗会社などにも問い合わせし、よりよい品種の検討や適正な播種時期など調整して参りたい。

木村議員

ひまわりの里及びその周辺整備計画の全体像を決めて、年次計画を立て優先順位を決めながら進めて行くべきだと考える。

佐々木町長

ひまわりの里の整備計画と



その全体像、そして進めるに当たつての優先順位は当然必

要な事である。令和7年度に向けて検討していく。



木村議員 ひまわりの里の渋滞緩和 について

木村議員
ひまわりまつりの期間中、渋滞が発生している。

渋滞を緩和するために、観光センターの新設・移転を念頭に置いて、現在のひまわりの里入り口から町宮野球場のバックスクリーンの裏を通り、世界のひまわり園場一部を通過しノンノの森を抜け、中学校体育館の横を通り国道へとつなげる道路の新設が必要であると考ええる。

また、札幌方面からの渋滞を緩和するために、墓地線については駐車場への入り口としての補完路線とすることが望ましいと思うがどうか。

佐々木町長

令和4年度に実施した渋滞対策では、場内の出入箇所や

ることとなるが、今後の増加率がどのくらいあるのかということを踏まえ、有益性が高い経路について関係者皆様と検討していく。



沖野議員 ひまわりの里の渋滞緩和 対策と料金徴収について

沖野議員

ひまわりまつりにはたくさん観光客にご来場いただいた。ただ、最盛期には渋滞があり、碧水方向からの右折車が多かりの時間入場できないと聞いている。解決策として、元テニスコート駐車場の一部を右折車入口に整備できないか。

また、来年度から駐車料金を徴収する考えとのことだが、果たして混雑時に対応出来るか不安を感じる。入場料の徴収を含め再度検討してもよいのではないか。

木村議員

入り口での駐車場への誘導を1か所から順次つめていくやり方だけでなく、2か所3か所へと誘導して行けば渋滞を緩和出来るのではと思う。

佐々木町長

スポーツ公園への進入口増設については、安全面確保等をふまえ検討していく。今年度の反省も踏まえ、まずは出入口への警備員の配置増強等により、スムーズな動線確保、誘導について引き続き協議していく。

駐車料金徴収への検討については、ひまわりの里では柵や田園エリアとの区分けを行なっており、田園に黄色いひまわりが咲き誇っているとこをいつでも自由に入出入りできる、おおらかな開放感がひまわりの里の魅力であると

思っている。

しかしながら、入場料徴収をおこなうには、人の出入りを制限できる設備や対策により公平なものとしなければならぬ。その点、駐車料金徴収では一定の場所を指定することにより公平性が担保できることから検討することとなった。

第一段階として検討を始めたので、実際の徴収までには方法や徴収にあたる者の選定など更なる協議が必要であり、今後の調査でも入場料徴収とも比較していく必要があると考えている。

沖野議員

混雑時を予測しての誘導の方法を話しあうことが大事。また、駐車料金徴収には反対ではないが混雑時に更なる渋滞が発生しないかが不安だ。

奥田副町長

元テニスコート駐車場整備時に出入口も検討したが、現出入口と接近しており右直事故の危険性があり、あえて入れないようになっている。

沖野議員

観光客からマイナスなイメ

ージを持たせないためにも工
夫は必要なので、今後も提案
していきたい。

佐々木町長

料金徴収の議論は平成9年
の入込数19万人で観光センタ
ーが出来たときに初めて議論
された。当時はまだひまわり
の里の今後の見通しが見えて
いなかったなので、料金徴収す
る時期ではないと判断した。
平成22年の展望台建設のと



**佐藤議員
ひまわりの里の駐車料金・
入場料の検討について**

佐藤議員

先ほどの木村・沖野両議員
への答弁で考えは確認した
が、施設整備に関しては行政
としてやらなければならない
が財政負担が生じる。ひまわ
りを植えて開花させ観光客に
見て頂くまでの3,000万
円という経費は、観光客の皆
さんからご負担いただいても
よいのではないか。

きに再度検討されたが、当時
25万人の入込数が14万人にな
り観光客の激減により見送ら
れた。その後は観光協会など
で検討はされていたが実施に
はいたっていない。
ひまわりの里の運営費には
毎年3,000万円ほどかか
る。町の状況をみて料金徴収
を判断したので今後も協議し
ていきたい。

佐々木町長

駐車料金と入場料金を比較
して、入場料金の方が良いの
はわかっているが、過去の経
過で料金徴収に踏み切れない
部分もあった。今回の料金徴
収するべきとのご意見は大変
ありがたいと思ってる。しっ
かりと協議し案を出したい。

議員の賛否の公表 (北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています)

令和6年第3回定例会 (会期：9月11日～13日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

▽議 案 件 名	沖野	林	寺垣	佐藤	木村	澤田	尾崎	中村
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-
固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町除雪センター改築1期工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	-
北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議における質疑の件数	質疑0件	-						

決算審査特別委員会 (9月11日～13日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し

▽委員会付託案件	沖野	林	寺垣	佐藤	木村	澤田	尾崎	中村
令和5年度北竜町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和5年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和5年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和5年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和5年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和5年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和5年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和5年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
決算審査特別委員会における質疑の件数	質疑0件	質疑0件	質疑5件	-	質疑1件	質疑14件	-	質疑9件

決算審査特別委員会における議員質疑 (意見付与・修正を求めた質疑)

質疑内容	答弁内容
<p>■ふるさと納税の取り組みについて</p> <p>令和5年度の「ふるさと応援寄附金」は、約4億4千万円であり、その返礼品の中心が「ひまわりライス」となっている。</p> <p>ひまわりの里の観光と合わせて、北竜町農業にとっても大きな経済効果を発揮しており、更なる取り組みの強化を期待するところである。</p> <p>ひまわりライスの供給元はJAきたそらち北竜支所であり、町、JAきたそらち及び北竜支所、生産者にとってもともに経済効果の高い取り組みであり、今後、ふるさと応援寄附金の目標設定と目標達成のため、JAきたそらち及び北竜支所と十分協議し取り組まれたい。</p>	<p>道東ユーザー訪問に7月同行した。お米がないことについてお詫びの訪問となった。</p> <p>状況を理解はしてくれたが、十数年帯広で消費している実績があるし毎年更に消費を増やそうとしているのに米がないとは何事かとお叱りを受けた。</p> <p>ふるさと納税の最大値は6億円であり、それを超える目標設定をしていきたいと思えます。</p> <p>担当者も頑張ってくれています。ひまわりライスの魅力向上対策を委託業者にやらせてもらっているところで、募集の写真などの変更も行っている中での米不足となってしまった。目標をこちらからJAに申し伝える。</p> <p>目標値以上に増えたときにどのくらい手配してくれるか、余剰範囲も含めて伝える。</p>



北竜町もテレビなどマスコミに取り上げられ多々報道されている。

テレビではないが、YouTubeにおいて、71万人チャンネル登録のモトプロガーが初来道し、「ひまわりの里」から旅をスタートした。

ひまわりの状況からして8月第2週であったものと思われる。ひまわりソフトクリームを食べ、ひまわりロードをYZF(バイク)で走り、「セイコーマートへきすい」でザンギ焼きそばとリボンナポリンを味わい、国道233号線を走り、ひまわりインターから北上して行った。

10月上旬現在、44万回再生され1万件の「いいね」、600件余りコメントされている。33分間中の約3分間であるがPR効果として

は最高であると思われ、ありがたい。

北竜町ポータルにおいても、YouTubeを活用して発信しているが、現在のところ登録者数はそれほど多くはない。しかし、北竜町の情報発信としては十分機能しているものと思われる。

一部の議会において本会議等をYouTubeで配信しているが、どの程度の効果があるかは不透明と思われる。しかし、炎上気味の議会は爆発的な再生がされている。本町においても、議場の音響施設の更新時に、配信するか否か協議することになる。

何れにしても発信してしまったものは取り消すことができないので、内容やコメントについては慎重に対応していかねばならない。

(中村尚一)